



## 第4回 富塚小学校運営協議会

令和8年1月30日

14:00~15:00

会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出 <出席した委員の互選>

4 前回会議録確認

5 熟議 <司会：議長>

(1) 学校関係者評価

令和7年度学校評価の結果と考察、改善案（教務）

（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）

(2) 来年度の学校運営の基本方針の概要説明（校長）

(3) 学校運営協議会の自己評価について（会長）

6 報告 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

・夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）

・学校支援コーディネーターから

7 連絡

(1) 次年度第1回 令和8年4月28日（火）13:30~15:00 会場：会議室

(2) 会長・副会長の確認

閉会

## 第4回 富塚小学校運営協議会名簿

### 学校運営協議会委員

会長	吉原 忍
副会長	鈴木 秀俊
委員	久保田 智彦
委員	萩原 孝英
委員	マイヤーズ フランシス
委員	鈴木 佐知
委員	甲斐 進一
委員	平出 裕美子
委員	鈴木 敦子 (学校支援コーディネーター)

### オブザーバー

富塚協働センター	柴田 功洋
地域代表	小楠 佳子

### 学校支援コーディネーター

—	高橋 麻由美
—	深谷 有紀

### 学校

校長	村松 一彦
教頭	古宮 康子
教務主任	池内 伸彰
CSディレクター	新田 久美子

### 浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

## 令和7年度 第3回 富塚小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月27日（木）14時00分～15時25分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 久保田 智彦、萩原 孝英、マイヤーズ ツヨシ、鈴木 佐知、甲斐 進一  
平出 裕美子、鈴木 敦子
- 4 欠席委員 吉原 忍、鈴木 秀俊
- 5 オブザーバー 小楠 佳子（地域代表）
- 6 学 校 村松 一彦（校長）、古宮 康子（教頭）、池内 伸彰（教務主任）  
新田 久美子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 1人
- 9 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子

### 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、甲斐委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- （1）全国学力・学習状況調査から
- （2）学校評価アンケートについて
- （3）学校の抱える課題と改善策・支援策について

### 12 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）全国学力・学習状況調査から

議長の指示により、教務主任からプレゼンテーション資料に基づき全国学力・学習状況調査の結果について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・コミュニティ・スクールのどのような活動が、よいアンケート結果につながったのか。この学校のコミュニティ・スクールの特長は何か。（萩原委員）  
→一番は地域の方が教育活動に積極的に参加してくださるところだと思う。この地域には協力的な方が多い。家庭科の裁縫の支援や、生活科の校外活動の付き添い、クラブ活動の講師など、さまざまな活動をしてくださっている。（校長）
- ・何をやったからよい結果が出たというよりも、協力体制ができているということが大事。地域のみなさんが一緒になってやるのがすばらしいと思った。（萩原委員）

- ・アンケート結果を見ると、クラスの仲間とのつながりが足りないと感じている子供が、全国平均に比べて多いというのが気になった。学校としてはこれにはどのように対応していけばよいと考えているのか。（久保田委員）  
→学級や学年独自のイベントを通して子供たちの関係をよくしていくこと、またピア・サポートの活動の中で子供たちなりに問題を解決する能力をつけていくことが、子供たちの仲をよくしていくと考えているので、これからも継続していきたい。（校長）
- ・午前中に見せてもらった学習発表会は、みんなで協力して統制も取れておりすばらしいと思ったのでこの結果が気になったが、そんなに心配することでもないのかもしれない。（久保田委員）

## (2) 学校評価アンケートについて

議長の指示により、教務主任から学校評価アンケートの質問項目について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・「友達と協力して進んで活動することができた」という項目があるが、「協力して」と「進んで」はどちらが大事なのか。どちらに重点を置いているのか。（萩原委員）  
→協力よりも自分で決めること、つまり主体性の方を重視している。ひとりでやるのか、友達とやるのか、先生とやるのかを自分で考えて決定し、それに合った方法で進めていくということを大事にしている。（校長）
- ・目標を決めて体力づくりに励むことができたかという項目があるが、この体力づくりの目標は具体的にはどの時間のどの活動に対して決めているのか。（平出委員）  
→体育の授業で「ふりかえりカード」というものがある。目標を設定してそれに向かって努力し、その結果どうなったかを記入するようになっている。その他にも、教室の背面に学期ごとに決めた自分のめあてを書いたものを掲示しており、月末に評価することになっている。このめあてに体力面の目標を設定している場合もある。（校長）
- ・学校や先生は相談にのってくれるかという項目があるが、子供たちは家族や友達、担任の先生には言えないこともあると思う。その時に他の人に相談できる機会はあるか。（マイヤーズ委員）  
→養護教諭や出入りの先生に相談する子もおり、学校全体で対応している。希望すればカウンセラーに相談することもできる。（校長）
- ・自分が高校生の頃には保健室が駆け込み寺のような形になっていたが、小学校ではそのような場所はあるのか。（萩原委員）  
→やはり保健室が一番。保健室に養護教諭がいるのでそこで相談するということはある。またこの学校は担任に相談する子も多い。子供によっては放課後担任と話す機会を設定する場合もある。（校長）
- ・相談に乗ってくれる人がいるのはとても大事なこと。それが分かれば子供たちは安心して学校に来られると思う。（久保田委員）

- ・いじめの相談はあるか。（久保田委員）  
→いじめについては別で毎学期1回アンケートを取っている。書いた子がいれば複数の教員で聞き取りをして対応するようにしている。（校長）
- ・いじめが多く発生するタイミングはあるか。（萩原委員）  
→これというタイミングはない。不登校については長期の休み明けに多く発生するということはある。（校長）

### （3）学校の抱える課題と改善策・支援策について

議長の指示により、教頭から本校の抱える課題について説明があった。

#### ●ロング昼休みの見守りボランティアについて

前回の協議会でロング昼休みの見守りについて熟議したが、時間の関係で途中になってしまったので、ボランティアの取りまとめや募集のしかたなどについて引き続き御意見をいただきたい。

委員からは以下の発言があった。

- ・ボランティアの対象者は保護者や地域の方になると思うが、夏の暑さが心配。普段ボランティアの募集をすると保護者の参加は少ない。地域の方に多く来てもらうことになるので暑さが気になる。ロング昼休みの12時30分から13時20分は一番暑い時間だと思う。また、雨天や暑いときなど中止の連絡はどのようにするのかなど細かいことが気になるが、その辺りはどうするのか。（鈴木敦子委員）  
→当番制でやっていけばよいのではないかと。暑くて中止になるのであればその人たちに連絡すればよい。漠然と募集するのは難しい。この日は自治会にお願いしますと決められれば、自治会で行ける人を調整するという方法でできるかと思う。（久保田委員）
- ・パパボランティアはどうか。（鈴木敦子委員）  
→募集することはできるが、みなさん仕事があるので毎週何曜日に必ず来られるという方はあまりいない。土日休みの方が多いので平日は難しいかもしれない。（甲斐委員）
- ・以前読み聞かせボランティアをやっていたとき、登録してくれる人は多いが実際に活動できる方は少ないと感じた。昼休みの短い時間に行くというのは有休を取るほどでもなく難しいところがある。やってあげたい気持ちはあるが、時間の調整が難しい。（鈴木佐知委員）
- ・シニアパワーを使うとよい。若いお父さんやお母さんたちは仕事をしている人が多いので難しいと思う。（萩原委員）
- ・地域で参加できる人に来てもらうと考えるのがよい。仕事をしている人に休みを取ってもらうようなことではない。見守りをやりましょうと募集をかけて集まった人で始めてみるとよいのではないかと。（久保田委員）
- ・夏場の暑いときは人を指定するなどの対応をすればよいと思う。4～5人が理想だが、2人や3人ずつからでもよいので始めたい。（鈴木敦子委員）
- ・自治会やパパボラと連携を取りながら進めていくとよいと思う。（甲斐委員）

オブザーバーからは以下の発言があった。

先週日曜日に協働センターまつりが行われた。インフルエンザが流行しており不安もあったが、たくさんの方が来てくださった。昔から知っている、今は大学生になっている子に声をかけると友達を連れてボランティアに来てくれた。昔から知っている子たちが今も地域のためと手伝ってくれたことがとてもうれしかった。地域で子供を育てることができていると感じた。

地域の方は小学校が何かやろうと声をかければ動いてくださるので、元民生委員さんなどを中心に理解してくれる方を活用していけばよいと思う。（小楠さん）

## 報告

学校支援コーディネーターより、2学期の活動報告があった。

- ・ 9月、10月に5、6年生の家庭科の支援ボランティアを募集して実施した。
- ・ 1、2、3年生の校外学習の見守りボランティアを募集して実施した。
- ・ 10月31日に保護者や地域のみなさんと一緒に花壇づくりを行った。
- ・ 11月6日に4、5年生でお琴の先生をお招きして、お琴の鑑賞会を行った。
- ・ 11月4日と28日に地域や保護者の方を講師としてお招きして、15のクラブ活動を実施する。
- ・ 12月に5年生のボランティア児童と一緒に花壇づくりを行う。
- ・ 12月15日につくし学級で、地域の方を講師としてお招きして、秋に収穫したさつまいもを使った調理実習を行う。

## その他の報告事項

司会から、次回会議は、令和8年1月30日（金）14時00分から富塚小学校会議室で開催する旨の報告があった。

## 令和7年度 学校運営協議会自己評価表 とりまとめ

### <本年度の目標>

- 情報発信
- 支援活動の継続推進

### <評価項目1 学校運営の基本方針について熟議することができたか>

ア よくできた 6      イ できた 1      ウ あまりできなかった 1

- 委員からの質問に対して校長先生が一つ一つ丁寧に説明をしてくださるのでさらに深く熟議ができたと思う。
- 校長の説明を聞き、不明な部分の説明にも回答が得られて納得でき、また率直に意見を述べることができた。
- 基本方針の説明はわかりやすく、こちらからの意見に対しても取り組み方や対策を知ることができた。
- 校長からの詳しい説明があったため。委員からの意見が活発だったため、それらをもとに熟議を深めることができた。
- 型だけの会議ではなく、各々が自身の立場から考える意見、案を出し合うことができており、また方向性もしっかり基本方針に沿うよう進んでいる。
- 学校教育目標「ともに輝く富塚の子の育成」校訓「規律・勤勉・協働」に基づき総合的学習の中で各学年の課題について、学校と委員の間で情報を共有しあうことができた。
- 富塚小学校が目標としている本年度の目標（グランドデザイン）の実現のために校長先生がリーダーの基に教職員・保護者・富塚町各自治会の住民と連携して共通認識を持って取り組み富塚小学校の質を高めたい。

### <評価項目2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか>

ア よくできた 6      イ できた 1      ウ あまりできなかった 1

- 立場の異なる委員から多角的な意見が出て熟議ができた。

- いじめや不登校、また、教室に入れない児童への取り組みなど、意見交換ができてよかった。
- さまざまな視点から活発な意見や疑問が出たことで充実した熟議ができた。
- 学校側より実例や写真、グラフなど用いて情報の提示があった上で進んでおり、より具体的かつ適切な議論（熟議）がなされている。
- 学校方針について、学校側からわかりやすい説明を受けるとともに、運営協議会において協議等の中で積極的に意見交換を実施した。その結果、身近な課題や支援状況、生徒たちへの期待等について話し合いができた。
- 学校運営協議会を基盤として地域・学校・家庭が目標を共有し、連携し協働して登下校の見守り・伝統文化体験（浜松まつり）に取り組むことができましたが、木曜日の昼休み見守り（ボランティア活動）については未だ協議が必要です。

### ＜評価項目3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか＞

ア 充分に行った 1                      イ 行った 4                      ウ あまり行わなかった 2

- 自治会理事会での報告、説明にとどまり、地域への情報発信には至っていない。
- コミスクだよりを作成しているが、協議会での熟議については報告していない。  
CD間でも協議会について情報共有が足りていない。
- 登下校の子供たちの様子やロング昼休みについての課題は民生委員の定例会でも発信しました。
- 十分とまではいかなかったが自治会の役員会等で発信した。（2回）
- 情報の発信については、文面に頼るのではなく、議会委員が持ち場にて発信していかなくてはならないと考える。また、方針に沿うよう学校運営がなされることで、体現し発信できているとも考えられる。
- 地域住民への周知のため、連合会議、各種会議等において都度発信を行い協力と理解を依頼した。
- 学校、地域、各家庭との連携において、当事者として地域とともにある学校づくりの理解をもっとすべきと思います。

#### <評価項目4 今年度の評価を踏まえた来年度の目標>

○地域（保護者、自治会、協働センター等）との連携強化

→子どもたちの見守り、共同での学びや遊び

→先生の働き方改革と子どもたちの積極的かつ多様な活動の支援促進

※西小では毎年1年生、4年生向けに「人権教室」を取り入れていてよい学びになっていると感じました。富塚でも取り入れてみては？

○コミスクだよりに協議会での熟議について報告する必要性がある

CDでしっかり情報共有し、コミュニティ・スクールについてみんな理解する必要がある。

○地域への情報発信を有効に行う。

○引き続き、協議会での情報発信について熟議したほうがよいと思う。ロング昼休みの見守りが成功するとよいです。

○情報発信に関してまだまだ足りないと感じた。来年度も情報発信について熟議が目標です。

○富塚小学校がより魅力的な学校となり、親からの支持を得ることで生徒数が一定以上を保つことができれば、子供たち同士で研鑽が生まれ、自然と個性や成長に導けるような環境づくり

○学校の課題を共有し合い、生徒のため必要性を理解し、地域とともに富塚地区の地域性を生かした運営を目指す。

○地域は、協力体制を確立し関係機関と連携を取り、支援を継続して行っていく。

○学校運営協議会委員として学校内の環境整備（校内清掃、花壇の手入れ、図書室の本の整理など）学校側が許されるなら行いたい。

# 浜松市立富塚小学校運営協議会 年間計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和7年 4月24日 木曜日 13:30～15:30 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議 ⇒ 承認  (2)いじめ防止等のための基本方針について  (3)学校運営協議会の自己評価について  (4)夢育やらまいかCS加算分に対する意見書について	・授業参観
2	7月4日 金曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ  (1)特色ある学校づくり (2)学校の抱える課題と改善策 (3)支援策の具体化	
3	11月27日 木曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ  (1)特色ある学校づくり (2)学校評価アンケートの項目の検討 (3)学校の抱える課題と改善策・支援策	学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校への提出
4	令和8年 1月30日 金曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ(例) (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の 説明 ⇒ 改善方策について熟議(この結果を学校関係者評 価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ 反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明 OR 承認 (3)学校運営協議会の自己評価  <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告	